

【②釜山教育大学校（韓国）】留学体験報告書（1）

留学時の 本学の所属・学年・性別	初等教育教員養成課程 4年 女性
留学期間	2019年9月1日～2020年2月 (出発：2019年8月29日 帰国：2020年2月15日)
留学の目的・動機	○元々韓国の歌手が好きで、韓国語を習得したいと思ったから。 ○独学でも習得することはできると思うが、レベルの高い韓国語を習得するためには、現地で生活するのが一番だと思った。 ○英語教育に興味があり、日本語と文法が似ているにもかかわらず、韓国は英語力が高いので、その理由を知りたかった。
留学の準備を始めた時期	大学3年夏頃から
情報収集方法	韓国に交換留学したことのある本学の学生から
ビザ取得に要した時間	約2ヶ月
ビザ申請時の注意点	残高証明のため、大きな金額が必要（実際使うわけではない） 領事館のお盆時期などの休暇を想定して予定を立てること
奨学金受給の有無及び 奨学金名（金額）	奨学金受給 有 奨学金名：独立行政法人日本学生支援機構海外留学支援制度 (月7万円、初回渡航費16万円)
求められた語学力 及び具体的な準備内容	日常生活での会話ができる程度
授業クラスの状況 (人数、内容等)	40人程度（クラス単位）
履修科目について	履修科目数：後期 5科目（内5科目単位修得） ○初等音楽教材研究2 ○美術実技2（単位互換） ○英語会話2（単位互換） ○音楽実技2 ○糸科実技1

受講を勧める科目	初等音楽教材研究2 理由：韓国の国楽を体験できる
学年歴 (学期・試験・休暇等)	後期：9月～12月（12月中旬試験期間） 冬休み：1月～2月 後期：3月～6月
留学先までの交通手段	福岡空港～金海空港（約40分） 金海～釜山教育大学（電車またはバス：約1時間）
履修に関する留学先大学のサポート（チューター等）	本学での留学経験者の友達 （チューター制度は無い）
学習環境	大学の建物内は基本どこでもWi-Fiが飛んでいる 自習できる環境の整った図書館
居住環境	寮（2人部屋） 寮内にシャワールーム、トイレ、洗濯室あり もう一つの寮内（徒歩2分）に食堂、コンビニ
留学する際に持参した方がよいもの	日本食、韓国語学習本、 布団のシーツ（安い物を韓国で見つけることができなかった）
物価（食費、住居費等 日本の物価と比較して）	日本と大差なし。 ただ、食料などは家族向けで大きいものが多いので、その分高い。
留学にかかる費用 (渡航費、生活費を含む)	総額 約70万円 生活費 月約4万円 寮費 1学期13万円（朝昼晩食事込み） 渡航費 約1万円 海外旅行保険料 約14万円 語学学校学費 約9万円
治安状況	治安は日本と変わらない
その他注意すべき事項	○渡航してすぐに寮費を払わなければいけないので、現金を準備しておく ○宗教勧誘が盛んなので気をつける ○TOPIK等の条件は無いが、TOPIK3級以上が無いと、生活は厳しい ※2021年度4月現在、TOPIK2級以上が条件となっています

留 学・語学研修等体験レポート（自由記述）

私は、あまり明確な理由を持たず、ただ韓国語を話せるようになりたいと思って留学に挑戦してみました。TOPIK2級をギリギリ取得してからの留学スタートだったので、韓国では、韓国語でのコミュニケーションに大変苦労しました。留学を希望した当時、釜山教育大学は、“TOPIK〇級取得”など明確な語学能力の条件はありませんでしたが、TOPIK3級以上の語学力がないと、留学を有意義な物にすることは難しいと思いました。

その思いから、留学先での生活に馴染んできた11月頃から、韓国語を本格的に勉強するために、大学とは別に自分で学校を探してダブルスクールしていました。そこでは、中国やロシアなど様々な国籍の学生と友達になりました。韓国語が上達してからは、韓国人の友達とも韓国語でコミュニケーションが取れるようになり、会話も楽しむことができました。外国語を話せるようになると、会話できる対象が広がるので、それだけたくさんの知識や経験を持った人と交流できます。外国語を勉強する意義を身にしみて感じ、これを子どもたちに教えていけたらと思います。

また、私が留学した時期は、日韓関係がとても悪く、飛行機も減便していたり、日本のテレビでも、韓国での不買運動や「NO JAPAN」などの旗が揚げられている様子をたくさん流していて、周りの人からは留学をととても心配されました。しかし、実際に韓国に行ってみて、日本人だからといって悪い対応をされたりする事は無く、むしろ韓国には日本の文化に興味のある人が多く、たくさん話しかけてくれました。情報を鵜呑みにせず、自分の目で確かめることの大切さを学びました。

この留学には、韓国語を習得したいという思いで挑戦しましたが、留学というものの意義、外国語を学習することの意義、いろんな考えを持った人と話すことの楽しさと大切さ、自分が外国人（マイノリティ）として生活すること等、韓国語以外にもたくさんのことを学ぶことができました。

留学は私とは遠い存在だと思い、3年生になるまで勇気が出ませんでした。卒業を延期してでも留学に挑戦できて本当によかったです。